

## 研究に参加される職員ボランティアの方へ

### 「勤務環境の違いによる勤務者ストレス度の検討」へのご協力をお願い

#### 1. 集中治療室における居住環境について

集中治療室では全身にモニターを装着し機械的な音に囲まれ外界から遮断された状態となります。集中治療室の環境はかなり患者さんのストレスとなっていることが報告されておりこの居住環境の改善が必要だと認識されつつあります。現在でも音楽をかけたり空調を調節したりしていますが、色、明るさ、香りといった感覚への介入はされておりません。しかしながら日常生活ではこういった感覚への介入が気分をリラックスさせたりストレスを軽減することが報告されています。

#### 2. 「勤務環境の違いによる勤務者ストレス度の検討」への参加のお願い

現在、私達は「勤務環境の違いによる勤務者ストレス度の検討」という調査を行っています。この調査では、視覚、臭覚、触覚、聴覚、味覚などの感覚を患者さんの好みに調節し（意識のないときは平均的な好みに調整します）患者さんへのストレス軽減を図っています。この環境は患者さんだけでなく勤務者にもストレス軽減に働く可能性があります。そこで一般的な病室と改装された病室での勤務後のストレス調査を計画いたしました。

ストレスの計測は①唾液アミラーゼ測定、②主観的ストレスに対する VAS と NRS による評価、③簡易労働調査票を用いたストレス度のアンケート調査を行います。測定時間は 10 分以内です。

#### 各検査の説明

唾液アミラーゼ：試験チップを加えていただき唾液を採取させていただきます。また、各感覚への介入後にも唾液を採取させていただきます。人体への影響はありません。

主観的 Visual Analogue Scale (VAS) :0 から 100mm までの物差しに印をしてもらうことでストレス度を評価します。全くストレスがある場合は 0、今までに経験したことのないくらいのストレスの場合は 100 を選択していただきます。

主観的 Numerical Rating Scale (NRS) : 0 から 10 までの段階でストレス度を評価します。全くストレスがある場合は 0、今までに経験したことのないくらいのストレスの場合は 10 点を選択していただきます。

簡易労働ストレス表：23 項目のアンケートに 5 段階で答えていただくものです。

最後に当日担当された疾患の SOFA、処置回数、あなたの年齢、性別、経験年数を記入した抱いて終了です。

### 3. 研究参加人数と研究参加について

この調査は奈良県立医科大学附属病院集中治療部に所属する職員ボランティア 120 名に参加していただく予定です。この調査に参加いただくかどうかはあなたのご意思を尊重いたします。

### 4. 研究期間

倫理委員会承認後～2021 年 12 月 31 日

### 5. 健康被害について

本研究は唾液採取・簡単なアンケート調査のみですので、健康被害はありません。しかし、この調査によって何らかの健康被害が生じた場合、必要な治療は病院が提供します。また、治療費の支払いは通常の診療時と同様に保険診療となります。

### 6. 同意しない場合でも不利益は受けません

本研究への参加はあなたのご意思に基づくものですから、調査への参加を希望されない場合は、はっきりとそのように言って下さい。お断りになられたからといって、気まづくなったり、業務に支障がでるなどの不利益を受けることは一切ありません。また、本研究を開始した後に、途中でお断りになることも可能です。ただし、研究結果の解析や結果の公表後の同意撤回には応じられません。

この調査の内容について担当医師からの説明を聞き十分に理解していただいたうえでこの調査にご協力いただけるかどうかあなたのご意思でお決め下さい。この説明文の中でわからない言葉や表現、疑問な点があればチェックしておいて、担当医師に質問して下さい。また、説明の中でわからないことがあれば、どんなことでも、遠慮せずに担当医師に何回でも質問してください。

### 7. プライバシーは守られます

あなたのプライバシーに関することは第三者に漏れないよう充分配慮されています。この調査の研究成果を学会や学術雑誌に公表させていただくこともありますが、あなたの個人情報が公開されることはありません。また、研究の内容に問題はないか、研究に参加いただく皆様の人権や安全性が確保されているかなどについて、研究を行う医師とは独立した倫理委員会で審査されました。

その結果、本研究は倫理委員会より実施の承認を受け、学長細井裕司の許可を得ています。尚、あなたが同意された場合は、「勤務環境の違いによる勤務者ストレス度の検討」へのご協力をお願いを閲覧し承諾していただいたこととなります。

## 8. 研究計画書及び研究方法に関する資料の入手・閲覧

研究計画書及び研究方法に関する資料の入手・閲覧をご希望される、職員ボランティアの方は相談先へご連絡下さい。他の職員ボランティアや患者さん等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手・閲覧が可能となります。ただし、入手・閲覧の目的によっては入手・閲覧をお断りする場合があります。

## 9. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

本研究終了後 5 年間、もしくは最終公表から 3 年のいずれか遅い日が経過した日にデータの削除を行います。紙データについてはシュレッダーにて裁断後、破棄します。

## 10. 研究資金と利益相反

本研究に必要な物品や機器の購入はリサーチコンプレックス推進プログラムの研究費を使用しますが、研究責任者及び研究担当者に利益相反はありません。

\*リサーチコンプレックス推進プログラムについて

本プログラムは、地域に集積する産・学・官・金（金融機関）のプレイヤーが共同で 5 年後、10 年後からその先に実現される地域の姿と社会的価値を「ビジョン」として掲げ、国内外の異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的かつ統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤としてのリサーチコンプレックスを成長・発展させ、地方創生にも資することを目的とします。詳しくは下記をご参照ください

<http://keihanna-rc.jp/>

## 11. お問い合わせ先

研究機関名：奈良県立医科大学

研究責任者：集中治療部 井上聡己

担当者：麻酔科 川口昌彦（教授）、岡田美乃梨（秘書）

中央手術部 恵川淳二（学内講師）

集中治療部 稲田充代（看護師長）・小川哲平（看護師）、  
辻本雄大（看護師）

ご相談先：麻酔科 0744-22-3051（内線 3469）

この調査にご参加いただけない場合は、担当者にお伝え下さい。

最後までお読みいただきありがとうございました。

ご協力していただけるようであれば同意書にご署名をお願いいたします。